

日本赤ちゃん学会 第18回学術集会

発達の予兆～赤ちゃん学から保育の未来を占う～

会長：遠藤利彦（東京大学大学院教育学研究科 教授）

主催：東京大学大学院教育学研究科 附属
発達保育実践政策学センター（Cedep）

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
akachan_cedep@p.u-tokyo.ac.jp

演題募集
ポスター発表・
ラウンドテーブル
4.27(金)
まで

2018.7.7(土)～8(日)

プレコンgres6日(金)

東京大学
本郷キャンパス

メイン会場：安田講堂



大会企画リレー講演

発達の予兆～赤ちゃん学から保育の未来を占う～

- 小西行郎（同志社大学赤ちゃん学研究センター，小児神経学）
- 柴田悠（京都大学大学院人間・環境学研究科，社会学）
- 秋田喜代美（東京大学 発達保育実践政策学センター長，保育学）

日本赤ちゃん学会第18回学術集会

《大会テーマ》

- 発達の予兆～赤ちゃん学から保育の未来を占う～

《開催概要》

- 日 時：2018年7月7日(土)・8日(日)
※プレングレス6日(金)夕方
- 会 場：東京大学本郷キャンパス(メイン会場：安田講堂)
- 大会長：遠藤利彦(東京大学大学院教育学研究科・教授
同附属発達保育実践政策学センター・副センター長)
- 主 催：東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター

《企画》

- プレングレス
保育施設の音環境を考える—赤ちゃんと子どもの聴力を守る保育室とは—
- 大会企画リレー講演
発達の予兆～赤ちゃん学から保育の未来を占う～
[講演者]
小西行郎(同志社大学赤ちゃん学研究センター, 小児神経学)
柴田悠(京都大学大学院人間・環境学研究科, 社会学)
秋田喜代美(東京大学 発達保育実践政策学センター長, 保育学)
[総括コメント]
遠藤利彦(東京大学大学院教育学研究科・大会長, 発達心理学)
- 大会企画シンポジウム
 - I. 赤ちゃんのねむり～乳幼児の睡眠環境を考える～
 - II. 赤ちゃんの生活と育ちを追う～乳幼児の生活と発達に関する縦断研究の挑戦
 - III. 赤ちゃん学から見る乳児保育におけるアタッチメント～子育て・保育における人材育成の観点から～
 - IV. 赤ちゃんと政策～乳幼児の発達を支える～
- 大会企画指定ラウンドテーブル
センシング技術を活用した保育・幼児教育環境の探究
- 企画ラウンドテーブル
 - ① 若手部会による企画ラウンドテーブル(デジタルメディアと赤ちゃん[仮])
 - ② 保育部会による企画ラウンドテーブル
- 一般公募ラウンドテーブル、ポスター発表(演題登録締切:4月27日予定)

《学術集会事務局》

東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター(Cedep)
住所 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
お問い合わせ akachan_cedep@p.u-tokyo.ac.jp
ウェブサイト <https://sites.google.com/view/akachan18-cedep/>

